

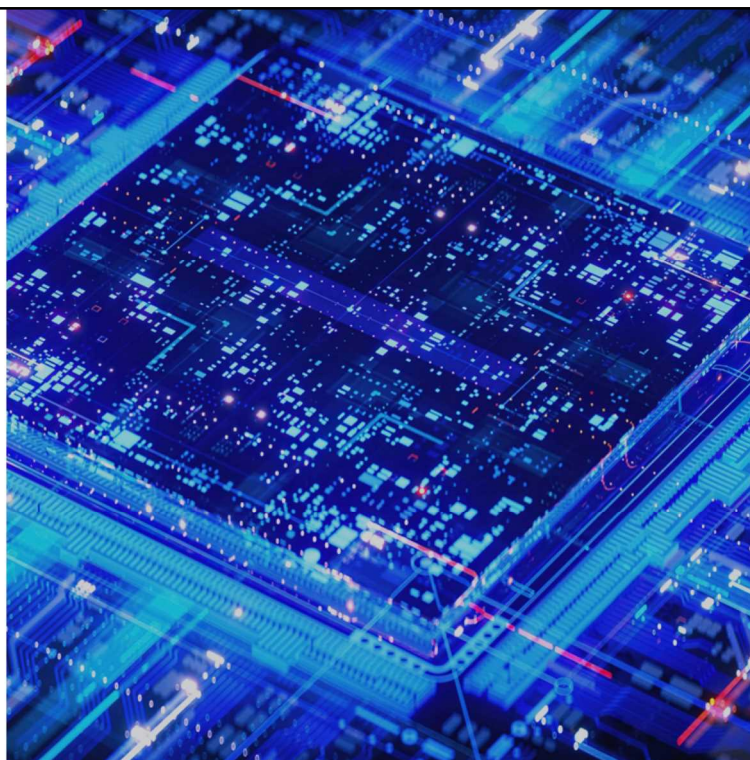
ULVAC

株式会社 アルバック

2024年6月期 第1四半期
決算説明資料

2023年7月～2023年9月

2023年11月7日





将来見通しに関する記述についての注意事項

本資料に記載の業績見通しならびに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき作成されたものです。

世界経済情勢、半導体・電子部品・FPD・原材料などの市況、設備投資の動向、急速な技術革新への対応、為替レートの変動など様々な要因により、実際の業績・成果等はこれらの見通し・将来予測と大きく異なる可能性があることをご承知おさください。

1. 受注高：バッテリー関連活発化、パワーデバイス増加等により、前年同期比大幅増加（+17%）

- 半導体：メモリ・先端ロジック投資抑制で1Qは低下。下期からの投資回復を見込む
- 電子：パワーデバイスSiC投資が活発化
- FPD：EVバッテリーの小型大容量化、安全性向上に向けた量産投資が本格化

2. 売上高：前年同期並みだが、受注残高は1,600億円を超え、2Q以降の売上増加を見込む

営業利益：前年度の高利益率案件の剥落等により、前年同期を下回る

2Q以降は売上増加等により利益率改善を見込む

	前年同期	1Q実績	前年同期比
□受注高	666億円	780億円	+114億円（+17%）
□売上高	562億円	550億円	▲11億円（▲2%）
□営業利益	51億円	28億円	▲23億円（▲45%）

24年6月期第一四半期の業績についてご説明します。

受注高は、

半導体は、メモリ・先端ロジック投資が抑制され1Qは、低下しましたが、下期からの投資回復を見込んでいます。

日本・中国でのパワーデバイスのSiC投資活発化

EVバッテリーの小型大容量化、安全性向上に向けた正極集電体のアルミ箔から両面アルミ蒸着膜への置き換えの量産投資本格化、

等により、前年同期比大幅に増加しました。

売上高については、前年同期並みとなりましたが、受注残高は1,600億円を超えており、2Q以降の売上増加を見込んでいます。

営業利益は、前年度の高利益率案件の剥落等により、前年同期を下回りました。

2Q以降は、売上増加等により、利益率の改善を見込んでいます。

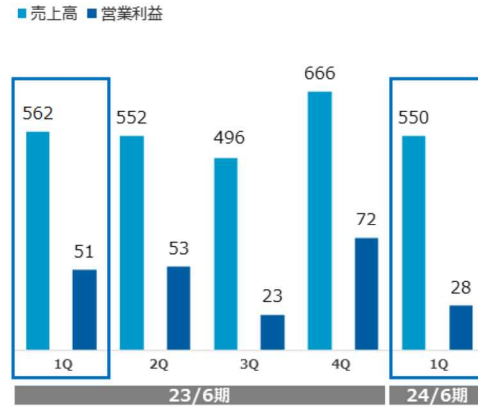
1 2024年6月期 第1四半期業績概要

- 受注高：バッテリー関連投資活発化、パワーデバイス投資増加等により、前年同期比大幅増加
- 売上高：前年同期並みだが、受注残高は1,600億円を超え、2Q以降の売上増加を見込む
- 営業利益：前年度の高利益率案件の剥落等により、前年同期を下回る
- 受注高は社内計画を大きく上回り、売上高・営業利益はほぼ社内計画通り

【単位：億円】	23/6期 1Q		24/6期 1Q	
	実績	実績	前年同期比	
受注高	666	780	+114	+17%
売上高	562	550	-11	-2%
売上総利益	165	153	-12	-7%
率	29.3%	27.7%	-1.6pt	-
販管費	113	124	+11	+10%
営業利益	51	28	-23	-45%
率	9.1%	5.1%	-4.0pt	-
経常利益	52	29	-23	-44%
率	9.3%	5.3%	-4.0pt	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	41	11	-29	-72%
率	7.2%	2.1%	-5.2pt	-

売上高と営業利益の推移

【単位：億円】



Copyright© 2023, ULVAC, Inc. All rights reserved

こちらは、サマリーでご説明した通り、

受注高は、バッテリー関連投資活発化、パワーデバイス投資増加等により、前年同期比大幅増加しました。

売上高は、前年同期並みですが、受注残高は1,600億円を超えており、2Qより売上増加見込みです。

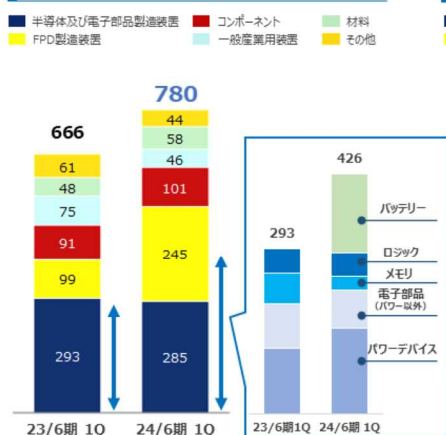
営業利益は、前年度の高利益率案件の剥落等により、前年同期を下回りました。

受注高は社内計画を大きく上回り、売上高・営業利益はほぼ社内計画通りとなっています。

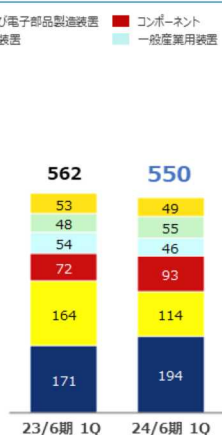
2 受注高は前年同期比増加 売上高は2Q以降の増加を見込む

- 受注高は、バッテリー投資の活発化、パワーデバイス投資増加等により、前年同期比大幅増加
- 売上高は、前年同期並みだが、受注残高は1,600億円を超え、2Q以降の増加を見込む

受注高 【単位：億円】



売上高 【単位：億円】



半導体・電子

半導体

メモリ・先端ロジック投資抑制で1Qは低下
下期からの投資回復を見込む

電子部品

パワーデバイス：SiC投資が活発化
(1Q集中、年間計画に変更なし)

各種電子デバイス：技術革新・増産投資継続

FPD

EVバッテリーの小型大容量化、安全性向上に向けた
量産投資が本格化(1Q集中、年間計画を上回る
可能性)

受注高は、

半導体は、メモリ・先端ロジック投資が抑制され、1Qは、低下しましたが、下期からの投資回復を見込んでいます。

日本・中国でのパワーデバイス投資、特にSiC投資が1Qに集中しました。年間の受注見込みに変更はありません。

各種電子デバイスの技術革新・増産投資も継続しています。

EVバッテリーの小型大容量化、安全性向上に向けた正極集電体のアルミ箔から両面アルミ蒸着膜への置き換え投資が本格化し、少しでも早く製品化を進めようと投資が1Qに集中しました。バッテリーの年間計画を上回る可能性があります。パネル関連投資のずれ込みの可能性もありますのでFPD関連としては計画に大きな変更はありません。

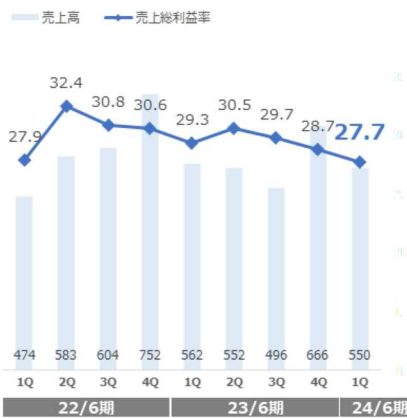
このようなバッテリー関連・パワーデバイスの1Q集中もあり、社内計画を上回るとともに、前年同期比でも大幅に増加しました。

売上高は、前年同期並みですが、受注残高は1,663億円となり、前年度1Qの1,310億円から3割増加しており、2Q以降の売上増加を見込んでいます。

3 利益率推移

- 売上総利益率は売上高の前4Q比減少等により低下
- 営業利益も売上総利益率低下、販管費増加等により低下
- 2Q以降は売上増加等により利益率改善を見込む

売上総利益率 【単位：億円、%】



営業利益率 【単位：億円、%】



販管費(率)推移 【単位：億円、%】



売上総利益率は売上高の前4Q比減少等により低下しました。

営業利益も売上総利益率の低下、販売関係費を中心とした販管費の増加等により低下しました。

2Q以降は、高水準の受注残高を背景とした売上増加等により利益率改善を見込んでいます。

品目	市場環境・成長ドライバー
半導体	メモリ：投資抑制継続。HBM関連投資が寄与 DRAM投資は下期からの回復を見込む ロジック：先端ロジック投資は下期からの回復を見込む
電子	パワーデバイス：日本・中国の6インチSiC投資が1Qに集中 8インチSiC投資は来期度以降本格投資を見込む 各種電子デバイス：技術革新・増産投資が継続
FPD	EVバッテリー：正極集電体のAl両面蒸着膜への置き換え投資本格化（1Q集中） ディスプレイ：低消費電力化・高精細化等のための工程変更等の受注継続 ITパネル用OLED投資は来期以降本格化を見込む
コンポーネント マテリアル カスタマーサポート	安定基盤ビジネスとして堅調に推移

SiCパワーデバイス用
イオン注入装置EVバッテリー用
両面蒸着巻取装置

半導体は、メモリは投資抑制が継続していますが、HBM（ハイバンドワイズメモリ）関連投資が寄与して下支えしています。

DRAM投資は下期からの回復を見込んでいます。

先端ロジック投資も下期からの回復を見込んでいます。

電子のパワーデバイスは日本・中国で6インチのSiC投資が活発化し、1Qに集中して受注する形となりました。最近の中国のパワーデバイスの投資サイクルは、下期は春節の影響もあり、上期、特に1Qに集中する傾向にあります。今回は国内投資も1Qに集中しました。

中長期的には来年度以降、8インチのSiC投資の本格的な活発化を見込んでいます。

各種電子デバイスは、センサー等、技術革新・増産投資が継続しています。

EVバッテリーの小型大容量化、安全性向上に向けた正極集電体のアルミ箔からアルミ両面蒸着膜への置き換え投資が本格化しています。少しでも早く量産化・製品化を進めようと各社の投資が1Qに集中しました。

ディスプレイビジネスは、低消費電力化・高精細化等のための工程変更等の受注が継続しており、ITパネル用OLED投資は来期以降の本格化を見込んでいます。

コンポーネント・マテリアル・カスタマーサポート等の安定基盤ビジネスも堅調に推移しています。

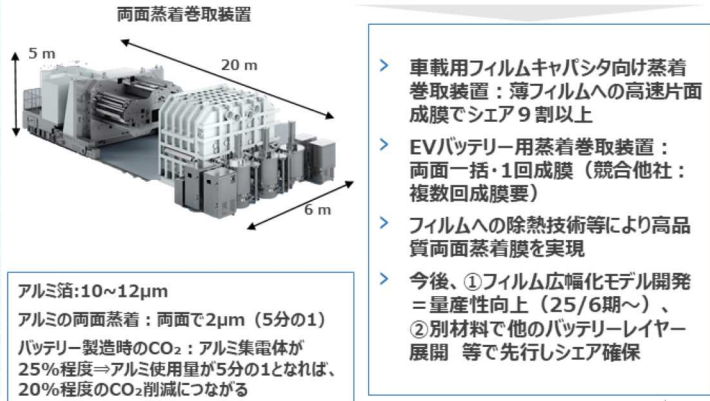
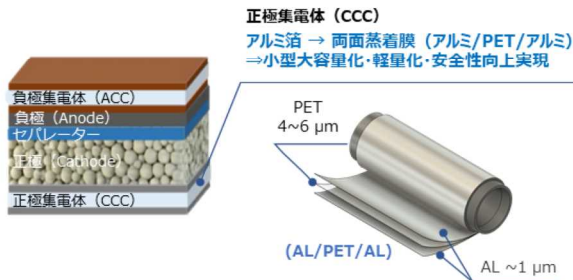
- EVバッテリーの小型大容量化・安全性向上実現のため、従来の金属箔から両面蒸着膜への置き換え投資本格化
- 両面一括・1回成膜による高い生産性で差別化

EVバッテリーの課題

- ①小型大容量化・軽量化
- ②安全性向上
- ③コスト低減（部材）
- ④製造時CO₂削減
- ⑤生産性向上

アルバックの強み

- ①熱ダメージ抑制による高速長尺成膜
- ②両面一括・1回成膜で高い生産性
- ③フィルム広幅化による生産性向上・別材料展開



投資が活発化し、1Qに受注が集中したバッテリービジネスについてあらためて説明します。EV用のバッテリーには、①小型大容量化・軽量化、②安全性向上などの品質面の技術課題に加え、③コスト低減、④バッテリー製造時のCO₂削減、⑤生産性向上などの課題があります。左下にバッテリーの構造図がありますが、今回は正極集電体を従来の10~12 μmのアルミ箔からプラスチックフィルムの両面に裏表各1 μmのアルミを蒸着したものに置き換える成膜を実現する両面蒸着巻取装置の受注が活発化しているものです。

これにより小型大容量化・軽量化が実現するとともに、プラスチックフィルムを挟むことで事故等の衝撃による短絡・火災リスクを低減させる効果があります。アルバックは従来から自動車用のフィルムキャパシタ向けに高速片面の蒸着装置で9割以上のシェアで、熱ダメージ抑制による高速長尺成膜を実現していました。この技術を使って、両面一括・1回成膜で高い生産性を実現しており、生産性の面でも他社と差別化できています。

バッテリー製造時のCO₂排出の25%程度をアルミ箔が占めていることから、アルミ使用量を10 μmから2 μmに5分の1に減少させることで、バッテリー製造時のCO₂排出量を20%程度引き下げる効果もあり、また材料コストも低減させることができます。

現在の世界のEV生産の過半は中国で、車載用バッテリーの生産も6割以上が中国となっているため、前4Q・今1Qに集中している受注は中国中心となっています。

各社ともいち早く量産体制を組もうと初期投資のスピード競争となっており、1Qは140億円を超える受注となりました。通期でも200億円を超え、26/6期には300億円を超えるビジネス規模になる見込みです。

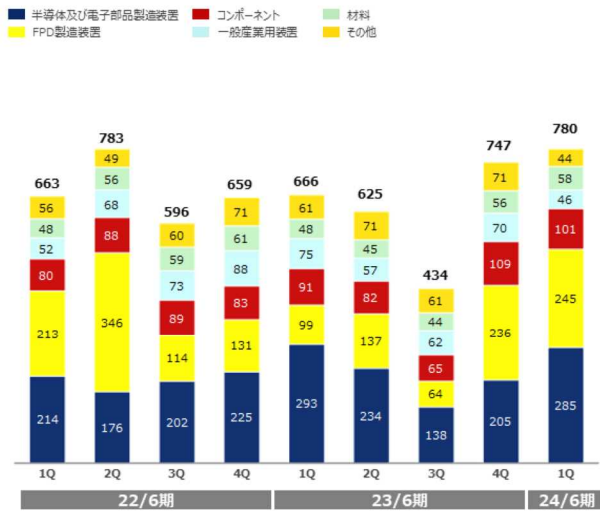
Q毎に見ますと、受注の波はありますが、バッテリー・パワーデバイス等の市場が拡大し、ロジック・メモリ投資も下期からの回復が見込めることから、中長期的な成長余地は大きいと考えています。

私からのご説明は以上です。
ご清聴ありがとうございました。

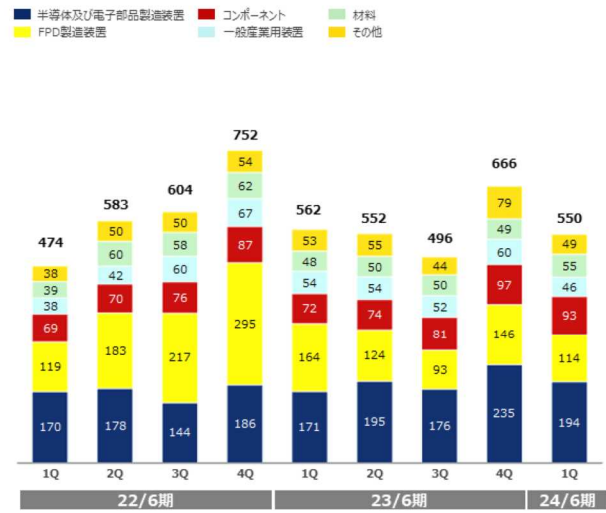
【単位：億円】	2023/6期				2024/6期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	前年同期比	
						増減額	増減率
受注高	666	625	434	747	780	+114	+17%
売上高	562	552	496	666	550	-11	-2%
売上総利益	165	168	147	191	153	-12	-7%
率	29.3%	30.5%	29.7%	28.7%	27.7%	-1.6pt	-
販管費	113	115	125	119	124	+11	+10%
営業利益	51	53	23	72	28	-23	-45%
率	9.1%	9.7%	4.6%	10.8%	5.1%	-4.0pt	-
経常利益	52	65	39	72	29	-23	-44%
率	9.3%	11.8%	7.8%	10.8%	5.3%	-4.0pt	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	41	53	24	24	11	-29	-72%
率	7.2%	9.6%	4.9%	3.6%	2.1%	-5.2pt	-

7 品目別受注高・売上高推移（四半期実績）

受注高 【単位：億円】



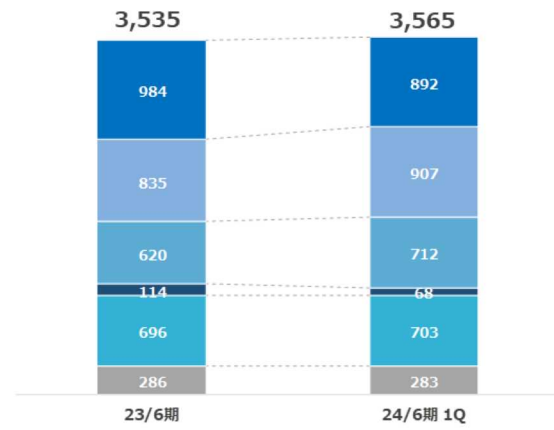
売上高 【単位：億円】



8 連結貸借対照表

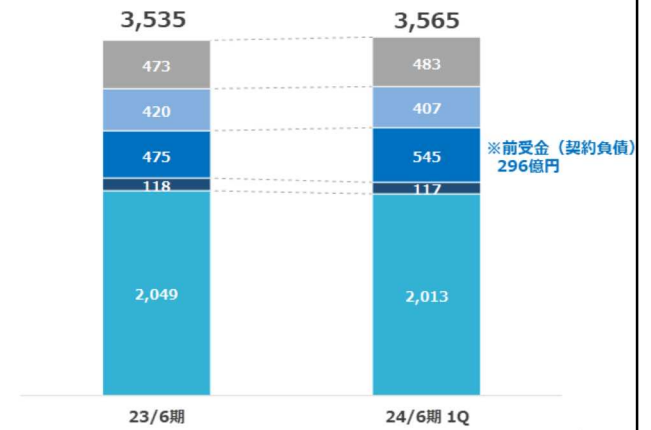
資産 【単位：億円】

- 現金・預金
- 受取手形・売掛金
- 棚卸資産
- その他の流動資産
- 有形固定資産
- 投資有価証券 他



負債・純資産 【単位：億円】

- 支払手形・買掛金
- 有利子負債
- その他流動負債
- その他固定負債
- 純資産



AI
人工知能(AI) 電子部品
半導体

- 半導体
- 電子部品
- コンポーネント
- 材料

病院
IoT ワクチン
遠隔医療 無菌製剤

- 半導体
- 電子部品
- FPD
- 一般産業用
- コンポーネント
- 材料

データセンター
データセンター パワーデバイス
半導体メモリ 電子部品
ロジック半導体

- 半導体
- 電子部品
- コンポーネント
- 材料

電動車
電動車 高性能バッテリー
パワーデバイス 磁石
電子部品

- 半導体
- 電子部品
- FPD
- コンポーネント
- 材料

真空遮断器
真空遮断器 熱交換機

- 一般産業用
- コンポーネント

風力発電
風力発電
パワーデバイス
発電用高性能磁石

- 半導体
- 電子部品
- 一般産業用
- コンポーネント
- 材料

スマートホーム
スマートホーム
半導体
電子部品
ディスプレイ

- 半導体
- 電子部品
- FPD
- コンポーネント
- 材料

フリーズドライサブリメント
フリーズドライ
サブリメント

- 一般産業用
- コンポーネント

ドローン
ドローン
スマート農業
半導体
電子部品
バッテリー

- 半導体
- 電子部品
- コンポーネント
- 材料

太陽電池
太陽電池発電設備
制御用パワーデバイス

- 電子部品
- FPD
- コンポーネント
- 材料



社会的課題解決

スマート社会・
デジタル社会実現



グリーンエネルギー化
低消費電力化

メモリ

ロジック IC

センサー・電子部品

パワーデバイス

バッテリー

微細化/高性能化/低消費電力化



ウエハー



ガラス



プラスチック

真空薄膜形成技術

スパッタリング

蒸着

CVD

エッチング・アッシング

イオン注入

コンポーネント

マテリアル

カスタマーサポート

さまざまな業界・用途で貢献する アルバックの真空技術



ULVAC